

1. 件名：東海再処理施設の安全対策に係る廃止措置計画変更認可申請に係る面談
2. 日時：令和3年1月15日(金)16時00分～18時00分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

細野安全管理調査官、田中主任安全審査官、有吉上席安全審査官、小舞管理官補佐、
上野管理官補佐、加藤原子力規制専門員、佐々木技術参与

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

事業計画統括部 次長

安全・核セキュリティ統括部 安全・核セキュリティ推進室 マネージャー

再処理廃止措置技術開発センター 副センター長 他8名

5. 要旨

○原子力機構から、資料に基づき東海再処理施設の安全対策に係る廃止措置計画変更認可申請について説明があった。

○原子力規制庁より、以下の通りコメントを伝えた。

(資料3について)

- ・ 大津波警報発令時に実施する浸水防止扉の閉止操作については、閉止操作を確実に実施したことを作業員以外の者が確認するスキームについても説明すること。
- ・ 既に認可を受けた廃止措置計画において、「廃止措置中に想定される事故」として選定された蒸発乾固に係る事故対処以外の対策については、大規模損壊による対応の項目に整理すること。
- ・ 今後、事故対処のために配備する計画としている燃料貯槽、水タンク等を使用した手順など、配備前である現状における訓練では確認ができない部分については、現在の事故対処の有効性を保守的に評価していることを説明した上で、当該貯槽等の配備後に改めて訓練を実施して有効性を確認し、必要に応じて事故対処手順を見直す旨を明確にすること。
- ・ 今回実施した事故対処の有効性評価は、今後設置する津波防護施設の具体的な設置場所を考慮している旨を明確にすること。

○原子力機構より、了承した旨返答があった。

6. 配付資料

資料1：東海再処理施設の廃止措置段階における安全対策のスケジュールについて

資料2：再処理施設における代表漂流物の妥当性の検証について

資料3：事故対処の有効性評価について

資料4：再処理施設の制御室の安全対策について（再処理施設の有毒ガス影響評価について）

資料5：漂流物の影響防止施設として設ける津波漂流物防護柵について

資料6：ウラン脱硝施設の冷水設備の一部更新について（再処理施設に関する設計及び工事の計画）

資料7：分離精製工場（MP）等の津波防護に関する対応について

資料8：事故対処の有効性評価に関する訓練について（速報）

資料9：東海再処理施設の安全対策に係る面談スケジュール（案）について